

CASBEE神戸ver.3

■使用評価マニュアル: CASBEE神戸ver.3

使用評価ソフト: CASBEE神戸ver.3/CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	IMIジャパン株式会社 本社・工場/ラ	階数	地上3F
建設地	神戸市	構造	S造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	-- 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,500 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年10月 予定	評価の実施日	2019年3月1日
敷地面積	7,140 m ²	作成者	(株)村上工務店 佐々木 博司
建築面積	3,557 m ²	確認日	
延床面積	5,442 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 81%
③上記+②以外の 81%
④上記+ 81%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
Q1 室内環境: 3
Q3 室外環境(敷地内): 3
LR1 エネルギー: 3
LR2 資源・マテリアル: 3
LR3 敷地外環境: 3

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.2

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

3 CASBEE神戸の重要項目

バリアフリー計画	建築物の耐震性等	まちなみ・景観への配慮
Q-2/1.1.3 バリアフリー計画 3.0	Q-2/2.1 耐震・免震・制震・制振 3.0 Q-2/2.4 信頼性 2.2	Q-3/2. まちなみ・景観への配慮 3.0
配慮の概要	配慮の概要	配慮の概要
その他の配慮事項		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される